

森の力再生事業に係る市町長・経済団体への意見聴取結果

(森林・林業局 森林計画課)

1 概要

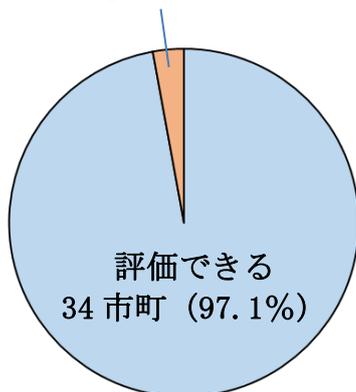
- 令和7年度末で「森の力再生事業」は10年間の第2期計画(H28～R7)が終了することから、これまでの事業成果を報告するとともに、令和5年度に県内の森林を調査した結果、新たに確認された荒廃森林への今後の対応等について、県内の市町長(35市町)及び経済団体(68団体)から意見を伺った。
- 「森の力再生事業」については、9割以上の市町長、8割以上の経済団体が「事業効果が発揮されている」「必要な事業」など、肯定的な評価をしている。
- また、9割以上の市町長及び経済団体が「森の力再生事業」の継続に賛成している。

2 意見聴取結果

(1) 市町長(35市町)への意見聴取結果

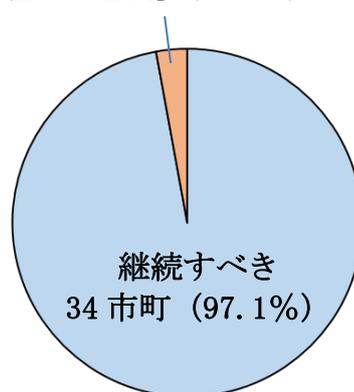
森の力再生事業の評価について

- 「整備実績が少なく市町への事業効果がわからない」(1市町)



森の力再生事業の継続について

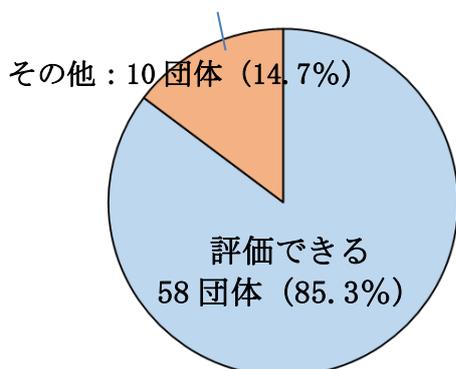
- 「事業内容の拡充など、制度の見直しが必要」(1市町)



(2) 経済団体(68団体)への意見聴取結果

森の力再生事業の評価について

- 「整備実績が少ない市町もあり、税の使われ方に不公平感がある」など、整備実績に偏りがあることに対する意見(3団体)
- 「個人が整備するべき」「会として話題にならない」など(7団体)



森の力再生事業の継続について

- 「事業は継続すべきだが、超過課税でやるべきか疑問」など、もりづくり県民税を財源とすることに対する意見など(4団体)

